

【ナーシングケア】

【かんたき】は社会的課題となっている【介護離職】の防止を支援します  
(※かんたき=看護小規模多機能型居宅介護 / 看取り対応可能)

# Nursing Care



(※利用者の範囲は制度により限定されています。裏面の施設一覧をご覧ください。)

自宅で、或いは【かんたき】で  
寄り添い、癒し、治し、そして看取る

仕事を続けながら親の介護・家族介護のできる環境設定

【かんたき】の営業時間：年中無休

通 い：7：00～21：00

(送迎サービス：初発7：00 自宅着～最終21：00 自宅着)

泊 まり：21：00～7：00

※尚、緊急時医療介護相談は各施設にて24時間体制で受付けています。



## 24時間・365日の介護サービス

仕事と介護の両立を目指して

表紙：かんたき上新庄 介護福祉士 松村 有紀(左) 看護師 中川 陽子(右)

Nursing Healthcare Co., Ltd. ナーシングヘルスケア株式会社

## Information

総合在宅ケアサービスセンター(かんたき(有床)+訪問看護ステーション+ケアプランセンター)

かんたき(看護小規模多機能型居宅介護)とは

介護が必要になっても住み慣れた地域や自宅で療養できるように「通い」「泊まり」「訪問(看護・リハビリ・介護)」を必要に応じ、組み合わせて利用できる地域密着型の介護サービス。ご利用者は要介護度1～5、事業所の所在地の市町村区にお住まいの方が対象となります。



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム6室  
**総合在宅ケアサービスセンター上新庄**  
所在地 〒533-0014 大阪市東淀川区豊新2-9-8  
TEL 06-6815-8808  
Mail kamishinjiyou-takinou@holonicsystem.com



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム6室  
**総合在宅ケアサービスセンター城東**  
所在地 〒536-0011 大阪市城東区放出西2-14-14  
TEL 06-6167-0535  
Mail jyoto-takinou@holonicsystem.com



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム9室  
**総合在宅ケアサービスセンター大東**  
所在地 〒574-0055 大東市新田本町4番26号  
TEL 072-806-3400  
Mail daitou-kangotakinou@holonicsystem.com



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム6室  
**総合在宅ケアサービスセンター堺下田**  
所在地 〒593-8329 堺市西区下田町19番15号  
TEL 072-269-0505  
Mail sakai-takinou@holonicsystem.com



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム6室  
**総合在宅ケアサービスセンター尼崎**  
所在地 〒661-0965 尼崎市次屋1丁目9番1号  
TEL 06-6498-0894  
Mail amagasaki-takinou@holonicsystem.com



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム7室  
**総合在宅ケアサービスセンター児島**  
所在地 〒711-0913 倉敷市児島味野1丁目4番23号  
TEL 086-470-5600  
Mail kojima-takinou@holonicsystem.com



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム7室  
**総合在宅ケアサービスセンター河内長野**  
所在地 〒586-0011 河内長野市汐の宮町12番2号  
TEL 0721-56-8600  
Mail kawachinagano-takinou@holonicsystem.com



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム9室  
**総合在宅ケアサービスセンター八尾北本町**  
所在地 〒581-0802 八尾市北本町4丁目7番14号  
TEL 072-923-9000  
Mail yaokita-kantaki@nursing-hc.co.jp



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム6室  
**総合在宅ケアサービスセンター武庫之荘**  
所在地 〒661-0045 尼崎市武庫豊町2丁目12番6号  
TEL 06-6431-5535  
Mail mukonosou-kantaki@nursing-hc.co.jp



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム9室  
**総合在宅ケアサービスセンター住之江**  
所在地 〒559-0006 大阪市住之江区浜口西2丁目5番4号  
TEL 06-6673-2411  
Mail suminoe-kantaki@nursing-hc.co.jp



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム9室  
**総合在宅ケアサービスセンター堺長尾**  
所在地 〒591-8045 堺市北区南長尾町2丁目2番19号  
TEL 072-257-1710  
Mail sakainagao-kantaki@nursing-hc.co.jp

【かんたき】は社会的課題となっている【介護離職】の防止を支援します

### 訪問看護ステーション

#### 訪問看護ステーション摂津

〒566-0021 摂津市南千里丘5番23ユニエス南千里丘103号  
TEL:06-6317-8567

### ケアプランセンター

#### ケアプランセンター茨木

〒567-0028 茨木市畑田町11番25号  
TEL:072-631-8455

#### ケアプランセンター摂津

〒566-0021 摂津市南千里丘5番23ユニエス南千里丘103号  
TEL:06-4860-8277



発行 2018年1月 / ナーシングヘルスケア株式会社  
編集 営業広報部・企画デザイン室  
〒532-0011 大阪市淀川区西中島3-18-9 新大阪日大ビル5階  
TEL:06-6302-1009 FAX:06-6302-4322  
Mail:info@nursing-hc.co.jp http://www.nursing-hc.co.jp

健康経営優良法人認定へ取組中





# ある日 介護は突然に……

## 病院からお家に戻られるまで

その日、とし子さん（82歳）は出掛けようと玄関先へ振り返った瞬間、転倒。救急車で病院へ搬送されました。右大腿骨転子下骨折。その後、搬送先の病院から回復期リハビリ病棟、そしてかんだきへ。在宅復帰を目指すとし子さんにご家族をたどりませう。

その日は、家族で出掛けようと玄関先で母を待っていました。母が振り返った瞬間にバランスを崩して転倒、うめきながら動けなくなった母のようすに、慌てて救急車を呼びました。搬送先は堺市の急性期病院。右大腿骨転子下骨折でした。家族が側にいて即対応できたのが救いです。いくつかの検査後、人工関節をいれる手術。しばらく安静と思いきや術後翌日、手術による炎症の管理とベッドをあげて座る練習など軽いリハビリを開始しました。特に高齢者の場合早い段階で体を動かし、身体



機能の低下を防ぐ必要があります。その後、急性期病院からリハビリ入院を目的とした回復期リハビリ病棟のある病院へ転院、ここでは毎日約3時間、個別プログラムにもとづいてみっちりリハビリを行い、順調に回復していると思った矢先、出血性膀胱炎でショック状態となりリハビリを中断、入院日数も伸びてしまいました。持病の慢性心不全、心筋症の服薬の影響があったと思われる。約3カ月後回復期リハビリ棟からようやく退院にこぎつけたものの母は、要介護度3、車いす、在宅酸素、膀胱カテーテル留置とオムツが必要な状態でした。

母は現在82歳、70歳過ぎまで現役で飲食店を営み、自分で車を運転して出掛ける行動的な人で、自宅でご近所さんとパッチワークをするなどおしゃべり好きな社交的な人です。夫を亡くしてから、ひとり暮らしで食事も身の回りの事もきちんとひとりでごこなして暮らしていました。

退院にむけて、病院の地域連携のスタッフの方々とカンファレンスには家族も参加し、退院後の母の療養生活をどこでどうするか？これが

ら歩行や生活動作がごまで元の状態に戻れるのか？方向性を話しあいました。母の店を引き継いでいる私たちが仕事をしながらどう介護をしていけばいいのか不安でいっぱいでした。退院後の方向性を決めたのは、母の強い思いでした。「早く自宅に帰りたい」という意思が固く、その思いに添えてあげたいと家族全員で決意しました。在宅復帰の希望を聞いた地域連携の方が「かんだき堺下田」をすすめていただき、家族で事業所を見学をしました。在宅酸素療法が必要な母は、看護師さんの目の届くところで管理していただく必要があります。足のはれもあり、マッサージやリハビリの必要性もあり、現状の母にはベストではないかと感じました。病院の退院カンファレンスに参加していただいた『かんだき堺下田』の細川所長から「いきなり家に帰るより、かんだきで退院後の体調の悪化や再び転倒の恐れがない状態で、家に帰るのが望ましいです。ご家族もご本人も安心できると思います」と提案していただきました。退院後、まず「かんだき」で「泊まり」の利用を開始しました。

「かんだき」でまず「泊まり」を利用、「家に帰る」を前提に在宅医と「かんだきスタッフ」がともに。



訪問看護ステーション堺下田  
かんだき堺下田  
作業療法士  
中原 玉香

としさんが回復期リハを退院後「かんだき」の「泊まり」の連泊をご利用となり約1カ月となります。

としさんは、疾患にともなう服薬管理が必要でした。状態悪化も自覚症状がなく、注意深く観察する必要があります。在宅復帰を前提にご家族への介護の負担をできる限り軽減させることを踏まえながら、リハビリの個別機能訓練として以下の目標を設定しました。

- ①「普通食」をご自身で召し上げられるようになる
- ②車いすからベッドへの移動ができる



③トイレでの排泄ができるようになる

トイレでの排泄について、入所当初、としさんは膀胱カテーテルが入ったままでしたが、在宅医の先生より「在宅復帰に向けて膀胱カテーテルをはずしてADLをあげた方がいい」と提案いただき、抜去しました。トイレまで職員が誘導し、便座に座るためには「立位」が必要となり、まず手すりをもって立つ訓練を進めて、現在、トイレまでは車いすで職員の誘導が必要なものの、便座への移動は手すりを持ちながらご自身で出来るようになりました。トイレで排泄が出来るようになると、食欲が旺盛になり、かんだきで訪問歯科の調整をし、治療を行ったことで、ミキサー食だった食事が今では「普通食」をご自身で召し上げられるようになっていきます。

足のはれがあり、関節可動域の動き



の確保のため、リンパマッサージを行い、5分〜10分手すりを持ちながら歩行訓練が出来るまでになりました。歩行訓練の間、心拍数、脈拍などバイタルチェックを行い、体調を確認しながら無理のないように進めています。

まず、第一段階として、月2回ご自宅近くのかかりつけ医の通院日にご自宅で過ごす時間をもてるようにすすめています。車いすも介助式から自走式に切り替え、ご自身の機能を生かしていただくように考えています。しかし、ご自宅は事業所とは違いリスクもたくさんあります。安心して過ごしていただけるように改善が必要になります。





# 安心しておうちで過ごすために

入院前は問題なく過ごしたこの家も車いすが必要なとし子さんにはいろいろな障害が。ご家族と安心して暮らせるようにかんたきスタッフが「家屋調査」で問題を見つけます。

この家だから、としさんがお家に帰りたいと言われるのがわかる気がします。門から玄関までゆとりのあるアプローチで、居間はどうも開放的で日当たりがいいです。大きな窓は近所との交流にはとてもいい空間です。

月2回以前からお世話になっているかかりつけのクリニックへの通院の際、自宅でご家族とお昼を過ごして頂くと思っています。そのために家屋調査を行い、としさんが安心して自宅に帰れるように、また、ご家族に不都合がないか、かんたきの職員がどこまでサポートすればいいかを相談させていただきます。

今回の家屋調査ではまず『車いすで玄関の段差をどのように移動するか、段差にスロープを付けるのか』を検討しまし

## かんたきが行う「家屋調査」



バナソニック  
エイジフリーショップ和泉  
大川 美加 福祉用具専門相談員

かんたき堺下田 所長  
中原作業療法士

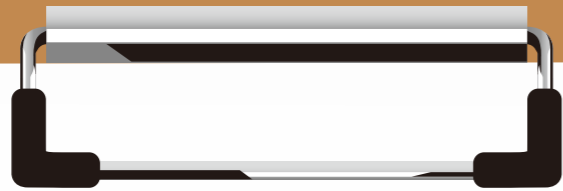
かんたき堺下田 所長  
細川看護師

た。ご家族がどれだけとしさんと外出されるかにも寄りますが、あがりかまの段差について、後ろ側にかかる重心を支えながら持ち上げる方法を指導させていただきました。玄関マットも車いすにひっかかり、外すことにしました。

福祉用具レンタルは自走式車いす、ギャッチアップ可能な電動ベッド、サイドレール、ポータブルトイレが必要と考えています。

たとえ月2回の帰宅でも在宅復帰に向けて介護用ベッドは必要と考えています。としさんも「自宅で暮らすためにこのリハビリをしなければいけない」という意識が高まり「かんたき」でも積極的にリハビリに取り組み姿勢がみられて、目標を持って生活を送られています。

かんたき堺下田 所長 細川 美穂



## かんたきの家屋調査

「かんたき」は、ご自宅に訪問させていただき、歩行に障害がないか？自宅のお風呂は使用が可能なか？トイレはスムーズに行けるかなど、リハビリスタッフ、看護師、ケアマネジャーなどが調査をして支援の仕方を話し合い、福祉用具の必要性なども含めてご利用者が安心して在宅で過ごせる環境を整えています。

コツは、“あがりかま”に後ろのタイヤを沿わせるように持ち上げることです！



かんたきの職員が送迎の際は、ベッドサイドまでお連れしますよ。無理なら折りたたみのスロープをつけましょう。



自走式車いすの場合、車幅が少し広がるので、トイレの入り口のどこまで車いすが入るのか？



便座に腰を下ろす、腰をもち上げる時に、手すりの位置はここで大丈夫だろうか？車いすからの移動は可能だろうか？



浴槽の高さをまたぎ、湯船につかることが可能か？現状のとしさんはお風呂は、「かんたき」で入浴された方が安心だろう。



この段差を車いすで、持ち上げることが可能か？



総合在宅ケアサービスセンター堺下田  
 所長 看護師  
 細川 美穂



column

こころのかたち こころの色 思いを紡ぐ  
**聴診器の向こうがわ**

堺市北区に11カ所目の「かんたき」がオープン！

ナーシングヘルスケア（株）総合在宅ケアサービスセンターはH29年11月に11カ所目が堺市北区にオープンとなりました。内覧会には雨の中130名の方にお越しいただきました。堺市では2カ所目となりますが、H27年11月堺市西区にオープンした時には、「かんたきって・・・何？」どんな事業なのか、分かっていただくために、病院や地域包括支援センター、ケアマネジャーの方々には、時間をかけて説明させていただきました。2年、やっと、地域での「かんたき」の理解が深まり、お役に立てることができるようになりましたと感じています。



堺で2カ所目の「かんたき」として、H29年11月に堺市北区南長尾にオープンした総合在宅ケアサービスセンター堺長尾

お支える地域密着型の事業所です。地域の方々に意見をいただきながら、できる限りそのご要望にお応えできるような事業所に。また「困りごとがあれば、あそこへ行けば相談に乗ってもらえる」と頼っていただけのような存在となれるように、更に地域に溶け込み、今後も努力して参りたいと思います。

●知っておきたい介護のQ&A

Q. 緩和ケアってどういうことをするのですか？



お答えします  
 総合在宅ケアサービスセンター尼崎 所長  
 緩和ケア認定看護師  
 栄元 由香



A. 「緩和ケア」は、がん患者さんだけと思われていますが、心不全、呼吸不全、腎不全などががん患者さん以外でも痛みやその他の苦痛な症状を和らげ、生命を尊重し、患者さんが最期まで人生をいきいきと、できるだけ活動的に生きることを支え、患者さんの抱える困難にチームアプローチで対処します。終末期に行われるケアと思われがちですが、化学療法や放射線療法などのがん治療の過程により影響を与えられるように、「緩和ケア」は、がん治療の初期から適用し、患者さんのQOLを高めるため、治療に伴う副作用の緩和を行うことも含まれます。

※QOL=Quality of Life「生活の質」のこと。

かんたきの  
 在宅  
 緩和ケア

ご自宅と「かんたき」で、ご家族と穏やかに

80歳代男性 膵臓がん、胃がん、転移性肝臓がん。主な看護ケア：食べられなくなったという不安に「かんたき」でケア。がん末期の点滴（輸液）

食欲低下で、食べられないことへの不安があり、入院中は1日1500mLの点滴をしていました。点滴をしていることでAさんは安心されていたので、退院後もAさんの希望で1000mLの点滴は継続となりました。介護する奥様は、ご高齢で自宅で点滴をするのは心配だと仰っていました。Aさんとご家族と相談の上、夜間は「かんたき」で泊まり点滴を行い、日中は点滴のない状態で自宅で過ごすこととなりました。点滴をしながら、そうめん等のお好きな物を少しずつ口にされるようになりました。点滴による身体的な苦痛症状がないかを観察しながら、主治医やAさん、ご家族と話し合いを重ねました。ご自宅と「かんたき」を行き来しながら、最期は、「かんたき」でご家族に見守られながら旅立たれました。

介護に関するご相談・お問い合わせは

情報誌「ナーシングケア」裏面のお近くの事業所にお問い合わせください。

ナーシングヘルスケア

大阪での安心、快適な移動は近鉄タクシーで。



お車のご用命は

大阪市内  
 東大阪・八尾地域

☎06-6771-9001

藤井寺・羽曳野・松原・柏原  
 富田林・河内長野・南河内地域

☎072-938-1111

**近鉄タクシー株式会社**  
 Smart Driving, Good Manners.

ひゅめ〜る®封筒

簡単開封  
 はるだけでキレイに開封!  
 ハサミ不要  
 キレイに開くので思わず開けたい商品  
 すべての人に優しい商品 (ユニバーサルデザイン)  
 他社との差別化や独自性を出せる商品

印刷事業部 各種印刷から製本加工、製品管理まで  
 封筒事業部 ゆめーる封筒発売元、各種封筒の製作加工  
 デザイン事業部 各種企画・デザイン  
 アニメ事業部 もえしよく代理店・キャラクター制作・アニメーション動画制作  
 WEB事業部 ホームページ制作・SEO対策・インターネットコンサルティング  
 レンタル事業部 多目的ホール・インドアゴルフ・シアターオフィス  
 インバウンド事業部 訪日観光客誘致用の海外展示会への出展サポート

株式会社 米谷